



# 給食会だより

平成23年7月発行 静岡県学校給食会浜松支部

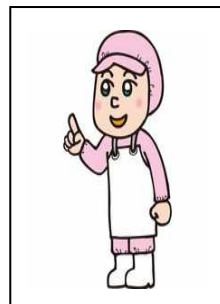
## 声かけで心の耕しを

♪♪ ささの葉 さらさら のきばに ゆれる・・・♪♪ と子供たちの元気な声が聞こえてくる季節を迎えました。最近はこの歌のように家庭の軒端に七夕の飾りが飾られているのをほとんど見かけなくなりました。

私が子供の頃の七夕は、旧暦で8月7日に行われていました。短冊にはサトイモの葉にたまった朝露を集めて、硯で墨をすって書いていました。ちょうどその頃お寺さんの内施餓鬼が行われ、和尚さんが各家庭を回っていました。和尚さんが仏壇の前でお経をあげている間、母親が後ろからうちわであおいでいます。私は座敷の隅でそのお経を聞きながら、足のしびれを我慢して筆を持っていました。長いお経と短い世間話を済ませた和尚さんが、私のところに近づき「上手に書けたなあ。」と一言声をかけてくださいました。私は何も言えずにうつむいていました。その後、いつもより多くの短冊が吊るされた七夕飾りが軒端にひらひらと舞っていました。もう50年近く前の出来事ですが今でも鮮明に覚えています。

5月の給食会だよりで給食のレプリカの紹介をしましたところ、いくつかの学校で利用していただきました。そのレプリカを見た保護者の方から「以前は、給食が食べられないと昼休みにも食べさせられたよね。」という話題が必ずといっていいほど出てきます。このことは確かにどの学校でも行われていたようです。

昼休みまで食べていた子が給食室に返却に行くときには、恥ずかしい思いをしながらうつむいて廊下を歩いて行ったものです。ある小学校では、遅れて食器を持ってくる子供のために、調理員さんが待っていました。子供が「遅くなってごめんなさい。」と言うと「〇〇さん、今日はたくさん食べられたね。」「〇〇君、明日ピーマンが出るけどがんばってね。」「残さず食べてくれるとおばさんたちうれしいな。」と一人一人に声をかけていました。子供たちは来るときと違ってスキップをしながら帰る子もいます。調理員さんの何気ない一言ですが、ずっと心に残っている子もいるのではないのでしょうか。



浜松市教育委員会が作成した学習冊子「はままつマナー」(中学校版)の「言・Koto」に「たった一言が人の心をあたためる・・・」とあるように、子供たちの「心の耕し」には適切な声かけがとても大切です。

東日本大震災に見舞われた仙台市ですが、今年も七夕祭りが開催されるようです。短冊に願いごとを書くことはなくなりましたが、子供たちや復興に対する願いを持ち続けようと思っています。

七夕や 空と心は つながってる (給食会 見夢局)

## 給食用レプリカの感想を紹介します

先日、利用いただいたK小学校から感想が送られてきましたので紹介します。

いつもお世話になります。

先日は給食のレプリカを貸していただきありがとうございました。参観会、1年生保護者の給食試食会の時に展示させていただきました。児童、保護者、先生方もレプリカを初めて見る方ばかりで大好評でした。児童、保護者の感想を同封します。展示の様子もご覧ください。

ありがとうございました。

### <保護者の感想から>

- ・ 昔から現代までの給食が分かり良かったです。自分の子供の頃を思い出しました。
- ・ 子供達と自分が同じレプリカを見たことにより、親子で給食について考える機会が持てました。昔と今の献立の変化もよく分かったし、給食に感謝する気持ちも生まれたし、今後の変化も想像したりもしました。このような食育の場を設けてくださり本当にありがたいです。子供も保護者も大変熱心に見入ってしまいました。ありがとうございました。

### <児童の感想から>

- ・ 今と昔の給食がよく分かりました。35年前の給食が食べてみたいです。
- ・ おじいちゃんやお母さんが食べているのとぜんぜん違うなあと思います。
- ・ 昔でいいものと今でいいものがあるので、混ぜたのを食べてみたいです。

# 報告

浜松市学校給食物資納入業者協会の総会が6月7日に開かれました。そのなかで、永年にわたり良質な食材の安定供給に努め、学校給食の充実・発展に多大な貢献をされた下記の業者に給食会浜松支部より感謝状を贈りました。

★ 袴田食料品店（青果部会）	袴田 浩司 様 ★
★ 和賀商店（青果部会）	和賀 悦子 様 ★
★ 杵屋食品（麺部会）	杵屋 彰一 様 ★